

高品質シール印刷をデジタル化して ナンバリングなど可変印刷が可能に。



**VersaUV
LEC2-640**

導入事例のご紹介

永井印刷 株式会社 部長 永井 宏和 様

難易度が高いシールや工業用ラベル作製を得意とする老舗シール印刷会社永井印刷様は早くからデジタル化に取り組んでいました。2009年にナンバリングなど可変印刷を効率化するため、デジタルで出力でき、ラベルやシールを高品質に仕上げられるUVプリント&カット機「LEC-300」を導入。さらに2021年には最新シリーズの「LEC2-640」を導入しました。作業性が格段にアップし、使いやすくなった同機の魅力と活用方法について、永井宏和部長にお話をうかがいました。



導入の決め手

- 1 高品質なUVプリントだからラベルやシールに必要な品質に仕上げられる
- 2 巻き取り精度がアップしたことで作業性がアップ
- 3 インクカートリッジの容量が増加したことで長時間の連続稼働が可能に

シール印刷のデジタル化にいち早く取り組んできた

当社は初代社長が印刷会社から独立して、1955年にシール印刷会社として創業し、工業用ラベルやシール、ステッカーなどを手掛けてきました。工業用ラベルは版を作り、インクを自社で調色してから、1色または2色で印刷して、ラベルの形状に合わせて型抜きするのが一般的です。こうした加工はどのシール会社でもやっていますが、弊社ではシール裏の糊の一部を利かなくする「糊殺し加工」など、難易度が高い仕事をする事で、差別化を図ってきました。

2代目・現社長の方針で、シール印刷のデジタル化に早くから取り組んできました。「こ

れからデジタルの時代が来る」という社長の考えと、シール、ラベルの1枚1枚にプリントする内容を変える、ナンバリングなどの可変印刷に取り組みたいという強い思いで、最初は家庭用インクジェットプリンターにロールシールを通して印刷するなど、様々な挑戦や実験をおこなっていました。そして、より良いデジタル機器がないかと様々な情報を集めたところ、ローランド デー・ジー に辿りつきました。最初に当社がデジタル印刷機を導入したのは2009年。発売されたばかりのUVプリント&カット機、LEC-300でした。

可変印刷に対応したことで 同業者からの出力依頼が増加

ナンバリングなどの可変印刷は、版を使う



グロスインクで
プリントした点字シール

アナログ印刷でも可能です。しかし、活字を組み合わせるため、書体の種類などに限界がありました。しかし導入したLEC-300なら、印刷内容がシール毎に1枚1枚違っていても、データさえあればそのまま印刷できます。

シール業界は全体的にデジタル化が進んでおらず、ナンバリングや可変印刷に対応できる場所は多くありません。そのため、LEC-300を導入後、同業者から可変印刷の依頼が増えました。

以前の機種よりも作業性がアップ 資材が無駄にならない

その後もさらにローランド ディー・ジー. のLEC-540を追加で導入。そして昔の機種のメンテナンスが終了になったこともあり、2021年4月に最新機種のLEC2-640を導入しました。導入前には他社の同クラス機種も調査しましたが、最終的には印刷品質が高かったことが決め手です。

導入してすぐに気付いたのが、13年前の機種に比べて作業性が格段にアップし、細かい部分が修正されている点です。

まず、プリントしたラベルの巻き取りがキレイになりました。ラベルは印刷後、型抜き機にかけますが、巻き取りが斜めになったり蛇行



COMPANY PROFILE

永井印刷 株式会社 様

〒577-0033 大阪府東大阪市御厨東1-4-23
TEL: 06-6784-6775 FAX: 06-6784-6753
<http://nagaiprint.com/>

1955年創業のシール印刷会社。他社ができないシール作製を中心に、近年はデジタル印刷機を導入することで、ナンバリングなどの可変印刷に対応。ステッカーやフロアサイン、シールなど様々な商品に活用している。

すると、型抜き位置がズレてロスになります。また、巻き取りが蛇行することでプリンターヘッドに擦れたりプリントに線が入るなどのトラブルにもなります。しかしLEC2-640の巻き取りはキレイなので、それらの不具合も無く、作業性がアップして資材も無駄になりません。

また、以前の機種は3時間に1回、インクを交換していましたが、最新の機種はインクカートリッジの容量が増えたことで、長時間の連続稼働が可能です。夜にプリントをかけて朝出社すると完成しているので効率もいいです。他にも機械の立ち上がりが速いなど、様々な部分が進化していると感じました。

デジタル印刷がなければ 売り上げが減少していた

現在、LEC2-640を使ってステッカーやフロアサインを作製しています。ステッカーは塩ビ製が多く、トラックに貼る500×500mm、自動車に貼る50×80mmなどサイズは様々です。グロスインクを活かした点字シールなどの注文もあります。フロアサインはサイズが大きく800mm×2m。小さいものだと、カタログの訂正シールなど。デジタル印刷の便利さを最大限に活かせるのが、自転車に貼る駐輪シールや、



イベントの設営業者が身分証代わりに貼るスタッフ識別シールなどです。シール毎に全て番号が違う可変印刷なので、デジタル印刷機が活躍しています。

現在、版を使うアナログ印刷とデジタル印刷の比率が4:6になり、昔と比べて逆転しています。アナログ印刷は9月から11月にかけてリボンシールの注文が集中しますが、デジタル印刷は年中通して注文があります。

アナログ印刷は大量ロットですが、単価が安いので、デジタル印刷を導入していなければ、売り上げが減少していたかもしれません。今後はデジタル印刷だからこそできる、ネットでの小ロット販売にも力を入れていきたいと考えています。

導入機種

VersaUV
LEC2-640



LEC2-640 基本スペック

標準価格	: 2,420,000円(税込)
寸法	: W2,819×D781×H1,316mm
重量	: 163kg
設置可能材料	: 幅210~1,625mm、ロール外径は最大210mm、芯径は76.2mm(3インチ)および50.8mm(2インチ) / 最大40kg 印刷/カッティング幅: 最大W1,600mm
印刷解像度	: 最大1,440dpi
使用インク	: ECO-UVインク (C,M,Y,K,GL,WH)

印刷時に発生する臭気や揮発性物質を除去する専用脱臭装置は別売り。